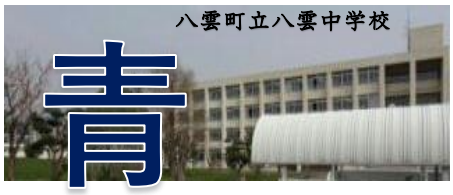

令和７年度
７月号

★教育目標　　郷土を愛し、未来を築く人間の育成
・健康な生徒（体）　・創造する生徒（知）　・実行する生徒（意）　・感動する生徒（徳・情）

★重点教育目標　　「互いに認め合い、学び合う生徒」の育成

二海郡八雲町東雲町 31 番地1　　E-mail：yakumo-jh@town.yakumo.hokkaido.jp

さあ～、夏休み！

～ 安全に、健康に、楽しい夏を過ごしましょう！ ～」

八雲町立八雲中学校長　増 田 正 弘

猛暑が続く中での健康と安全に気をつけよう！北海道でも連日厳しさが続いています。**熱中症**に特に注意が必要です。夏休み中は、**水の事故**が毎年全国で多く発生しています。「自分は大丈夫」と思っていても、自然の力はとても強く、予想できないことが起こる場合があります。自分の命は自分で守る、という意識をしっかり持って行動して下さい。

１学期を振り返ると　４月に始まった新学期も、あっという間に前期前半の終わりを迎えようとしています。この３ヶ月あまり、生徒たちは新しい学年・新しい仲間との生活の中で、学習、行事、部活動と多くの場面でそれぞれに成長の足跡を残してくれました。特に印象的だったのは、東京への修学旅行、八雲中学校の新たな修学旅行の第一歩でした。上智大学でのキャンパスツアーも印象深いものでした。雨の上野界隈の散策も風情がありました。５月、校内体育大会で見せた生徒たちの一生懸命な姿にも感動しました。そして、先週は２年生の宿泊研修がありました。暑い中、頑張りました。上級学校訪問、函館市内（主に五稜郭、元町方面）自主研修に事前に調べた内容を自分の目で見て、直接確認することができました。今学期の行事を含めた教育活動の中で、仲間と協力し課題に取り組み、協調性や思いやり、自信といった目に見えない「力」が育まれていることを感じました。

夏休みという“自分の時間”をどう使いますか？　夏休みは３０日間あります。毎日が自由に使えるこの時間は、実はとても貴重です。大人になってから、３０日間も続けて休みがあるということは、ほとんどありません。だからこそ、今の皆さんにとって、この夏は、「人生の中でも特別な時間」だと言えます。この３０日間、何をして過ごすかは、あなた自身が決めることです。もちろん３年生は、受験に向かって学習に、特に復習や総合力アップに、より励まなければなりませんね。どう過ごしたかによって、夏休み明け、少し違った顔をしているかもしれません。有意義な３０日間を過ごすことを期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様、４月からの学校教育活動に対し、ご理解とご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。生徒たちが、この夏休み期間中で心と体をしっかりとリフレッシュし、休み明けにまた元気な姿で会えることを楽しみにしています。

児童生徒向けに行われている各種相談事業について安心メールでお知らせしております。また、八雲中学校では、学級担任、養護教諭、管理職が相談窓口となります。何かあればご連絡ください。